

自分らしい生き方、応援します！

# ソーレ・スコープ

SOLE SCOPE

## Contents

1～4P 25th Anniversary

特別企画〈最終回〉

寄稿 大沢真理さん

横山百合子さん

櫻井彩乃さん

5～6P 講座・講演会のご案内

ソーレまつり2024ほか

7P 相談室のご案内

図書・情報資料室から

ソーレえいど・県民からの  
企画提案事業の募集



# 25th

詳しくは

高知 ソーレ

検索

<https://www.sole-kochi.or.jp>



HP



Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



メルマガ



ソーレは2024年1月に開館25周年を迎えます。特別企画として、県内外で活躍されている方々から、これからのソーレに期待することなどメッセージを寄せていただき、ご紹介してきました。今回は結びの回です。

## ジェンダー平等が 人類と地球の未来を拓く

おおさわ まり  
大沢 真理さん（東京大学名誉教授、経済学博士（東京大学））

### [プロフィール]

2018年度まで東京大学社会科学研究所教授。専攻は社会政策の比較ジェンダー分析。ベルリン自由大学、ボッフム大学、アジア工科大学院大学などで客員を務める。2015-17年度に社会科学研究所長、2018年度に東京大学大学執行役副学長。著書に、『Social Security in Contemporary Japan, Routledge /University of Tokyo Series 2011.『生活保障のガバナンス』有斐閣、2013年。編著に『災害・減災と男女共同参画』社会科学研究所研究シリーズ第66号、2019年、[https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/publications/issrs/issrs/pdf/issrs\\_66\\_01.pdf](https://jwww.iss.u-tokyo.ac.jp/publications/issrs/issrs/pdf/issrs_66_01.pdf)。共著に『自助社会を終らせる 新たな社会的包摂のための提言』岩波書店、2022年。



国際連合事務総長のアントニオ・グテーレスは、2023年7月27日の記者会見で、「地球沸騰化」という言葉で危機感を表明した。「温暖化」の概念では文字どおり“生ぬるい”というのである。

国連は2015年に、2030年までの「持続可能な開発目標(SDGs)」として17の目標と169のターゲットを合意した。SDGsは「誰一人取り残さない」を標語とし、その第1目標は貧困の撲滅である。第1目標のターゲット2は、「貧困」者の比率を半減することを求める。途上国でも先進国でも貧困者の多数は女性と女兒であって、第5目標のジェンダー平等と重なる。

第13-15目標は、それぞれ、気候変動への緊急対策、海洋とその資源の持続、森林と生物多様性の持続であるが、グテーレス事務総長は、それらの対策が生ぬるいと危機感をあらわにした。

対策として、たとえば日本政府は2020年10月に、2050年までにカーボンニュートラルを目指すと宣言した。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、植林・森林管理などによる吸収量を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることでなり立つ。

排出を減らす取組みでは、エネルギーの化石資源依存を削減し、太陽光・風力・水力・地熱などによる再生

可能エネルギーに転換することが重要である。しかし、再エネでエネルギーの100%を賄うようになっても、現状の温室効果ガス排出量の少なくとも4分の1は残る。それは、製鋼や肥料・爆薬などの製造に化石資源が原料として使われることによる排出量である。そこで、森林による吸収(グリーンカーボン)とともに、海藻や植物性プランクトンによる吸収(ブルーカーボン)が注目されている。

SDGsの前文は、17目標と169のターゲットが、「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女兒のエンパワーメントを達成することを目指す」と、宣言する。たとえば農村部の女性たちは、キノコや薬草を含む森林副産物を賢明に利用してきており、森林破壊による生活へのダメージが大きい。それだけに、森林と生物多様性の持続にとって、女性のリーダーシップを確立することが重要である。森を守る取組は、水害を緩和し、海洋沿岸の幸を豊かにすることにもつながって、ブルーカーボンにも貢献できる。

人類とともに地球の持続可能性を図る国内・国際的な取組において、女性差別の撤廃、ジェンダー平等の確立は、カナメの位置を占めている。森と川と海に恵まれた高知で、「ソーレ」は地域防災の講座・教室に力を入れており、とても頼もしい。

## 楠瀬喜多さんとオランプ・ド・グージュ

よこやま 横山 百合子さん（国立歴史民俗博物館名誉教授）



### [プロフィール]

専攻は日本近世史、ジェンダー史。博士(文学)。神奈川県立高等学校教諭、千葉経済大学教授、国立歴史民俗博物館教授等を経て、2021年3月退職。編・著書に、岩波新書『江戸東京の明治維新』(2018年)、『明治維新と近世身分制の解体』(山川出版社、2005年)、編著『講座明治維新9 明治維新と女性』(有志舎、2015年)等。

こうち男女共同参画センター「ソーレ」開館25周年、おめでとうございます。2021年6月、遊女の歴史やジェンダーの講演で伺った時の、熱く率直に語り合う「ソーレ」のみなさんのお顔を懐かしく思い出しています。

高知は、女性の歴史やジェンダーの歴史を学んできた私にとって心惹かれる地。お訪ねするのも楽しみでした。日本のオランプ・ド・グージュともいうべき、男女共同参画の大先輩、楠瀬喜多さんが生まれ活動した地だからです。

オランプ・ド・グージュは、1789年フランス革命で宣言された「人権宣言」に対して、「女性の人権宣言」を起草し、その後ギロチンで処刑されたフランスの女性です。「人は生まれながらにして自由かつ平等である」という「人権宣言」の言葉は有名ですが、宣言のいう「人」は、“白人で、男性で、財産のある人”だけで、女性も貧しい人も黒人も障がい者も、「人」には含まれてはいませんでした。グージュは、痛烈な批判と皮肉を込めて「女性の人権宣言」を発表しましたが、議会で議論されることもなく、その存在は100年以上忘れられていました。

一方、楠瀬喜多さんは、江戸の名奉行遠山の金さんが活躍した天保年間の生まれ。1878(明治11)年に新たな地方制度が作られ、区会議員が選挙で選ばれることになったとき、女戸主として税金を負担してるのだから、男性と同様に選挙権があるはずだとして参政権を要求、1880(明治13)年、日本ではじめて女性参政権を認める上町町会規則を勝ち取りました。

今日、楠瀬喜多さんは、一般には“土佐の片隅で”民権を訴えたローカルな“民権ばあさん”とみられているようです。しかし、本当にそうでしょうか。グージュの宣言第13条には、こうあります。

第13条 公の武力の維持および行政の支出のための、女性と男性の租税の負担は平等である。女性は、すべての賦役とすべての激務に貢献する。したがって、女性は(男性と)同等に、地位・雇用・負担・位階・職業に参加しなければならない。一方、喜多さんは、県令(今の県知事)に提出した文書でこう述べました。

私共は婦女の身ではありませんが、一戸の主(戸主)である以上、(税などの)諸般の務め、かつ政府よりの御取扱いも男女同じ権利があることは、ぺらぺら繰り返して言うまでもないでしょう。(小池洋次郎『民権家列伝 初篇』1880年刊より)

高知でも全国でも、自由民権運動家の男性は、次々に翻訳される欧米思想を学び活躍しました。しかし、欧米でグージュは忘れられ、女性の人権は認められていないのですから、それらの翻訳に女性の人権を正面から打ち出したものはありません。これにたいして天保生まれの喜多さんは、民権思想を受けとめて、自前の言葉で女性の権利を正面から求め、それを実践し勝ち取った人なのです。

喜多さん以来時を超えて溢れてくる泉のように、男女共同参画を実現すべく25年の歩みを続けてきた「ソーレ」の活動も、高知県民の暮らしと意識を豊かなものにされてきたことなのでしょう。更なるご発展を心より祈念しています。

# 若い世代がジェンダー平等な未来を拓く 拠点としての男女共同参画センター



さくらい あやの  
**櫻井 彩乃さん**(#男女共同参画ってなんですか代表、GENCOURAGE(ジェンカレ)代表)

## [プロフィール]

内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員、こども未来戦略会議有識者構成員等を務める。FORBES JAPAN 30 UNDER 30 2023に選出。1995年生まれ。高校2年生の時に「女は黙ってろ」と同級生に言われたことがきっかけで、ジェンダー平等実現を目指し活動を始める。現在は、日本全国で次世代の育成と若者の声を政策に反映する活動を展開。

## 1 私がジェンダー平等に取り組む理由

私がジェンダーを考え始めたきっかけは、高校2年生の時に、同級生から「女は黙ってかわいくしてればいいんだ」と言われたことでした。性別で判断してきた同級生の言葉に驚きました。その後「開発途上国では女の子というだけで生まれてくることができなかつたり、学校に行くことすらできない」ことを知り、衝撃を受け、自分でジェンダーの課題について調べるようになりました。大学生活では、女の子のための防災ブックの制作や、ジェンダー平等を目指した啓発イベントの主催などに奔走しました。

2020年には「第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方(素案)」へのパブリックコメントを若い世代から集める「#男女共同参画ってなんですか」プロジェクトを立ち上げました。「このままでは、生まれた性別によって選択の幅が狭まる日本の状況は変わらない」と危機感を覚え、32の個人・団体と連帯し、30歳以下を対象に実施したものです。パブリックコメント手続きに気軽に取り組めるよう、若者が直面する具体的な課題を例にSNSで発信し、素案について対話する場をつくりました。結果、約1か月間で1,050件の若者(30歳未満)の意見が集まりました。様々な分野で活動する若者の提言も併せて「ユースからの提言書」としてまとめ、橋本聖子担当大臣(当時)に直接届けました。

届いた意見で最も多かったのが「選択的夫婦別姓の早期導入」を訴えるもの(400件以上)であり、この声がかきかけとなり選択的夫婦別姓の議論は四半世紀ぶりに再活発化しました。選択的夫婦別姓を始め、就活セクハラ対

策、緊急避妊薬の薬局での購入や同性婚等、自分の意思で選びとれないものだらけのこの国で、結婚、出産、子育て、労働に対する若者の不安や不満の一端を、パブリックコメント手続きを通じ社会に提示できた手ごたえがありました。

また、#男女共同参画ってなんですかプロジェクトを実施する中で、「同世代の友達とジェンダーの話がしづらい」「ジェンダーに興味を持つと親に言われた」と、ジェンダーに関する話題や考える場が少ない現状が見えてきました。ジェンダー平等を巡る問題は感じつつも、その気持ちを言葉にできておらず、具体的解決を目指した行動に結び付けられずくすぶる若者が多いことが明らかになりました。

そこで、まずは一歩を踏み出すための居場所が重要だと考え、ジェンダー平等を目指す次世代のサードプレイス「GENCOLLEGE(ジェンカレ)」を新たに生み出し、オンライン上での居場所(サードプレイス)を提供し、ジェンダー平等推進に取り組む若者の育成につながる取り組みを行っています。ジェンカレでは各分野のリーダーを招いた講義や合宿、ワークショップなどを通じて、ジェンダー平等な未来に向けて主体的な行動を起こせるよう、自らの考えを深めることを目指しています。



「#男女共同参画ってなんですか」サイトより

# ジェンカレ

GENCOLLEGE

- 01 **Lecture**  
世界共通目標としてのジェンダー平等  
講師：大崎 麻子さん
- 02 **Lecture**  
日本のジェンダー平等政策と現状  
講師：岡田 恵子さん
- 03 **Lecture**  
政治とジェンダー  
講師：三浦 恵りさん
- 04 **Lecture**  
Sexual and Reproductive Health and Rights  
講師：谷口 真由美さん
- 05 **Lecture**  
Gender Based Violence  
講師：山口のり子さん
- 06 **Lecture**  
男性学  
講師：伊藤 公雄さん
- 07 **Lecture**  
ジェンダー視点から見つめ直す日本史  
講師：横山 百合子さん
- 08 **Lecture**  
LGBTQ+ - ジェンダーセクシャリティの多様性  
講師：松岡 宗朗
- 09 **Lecture**  
気候変動とジェンダー  
講師：遠藤 理紗さん
- 10 **Lecture**  
労働とジェンダー  
講師：山口一男さん
- 11 **Lecture**  
ビジネスとジェンダー  
講師：長松 麗智子さん
- 12 **Lecture**  
結婚とジェンダー  
講師：林 佳子さん

カリキュラム(ジェンカレサイトより)

## 2 若い世代の特徴

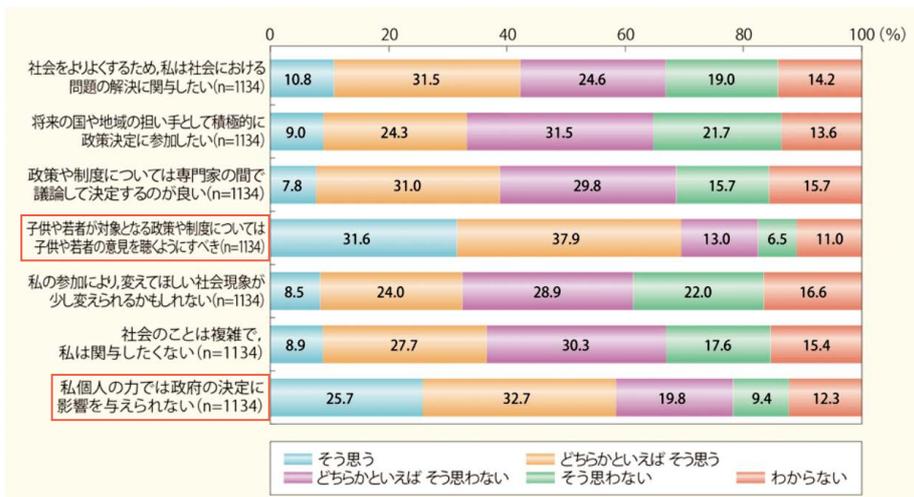
総合的な学習の時間などを通じてSDGsに親しんでいる影響もあり、ジェンダー平等に関心を持つ若い世代の数は増えています。20歳前後の人たちを対象に実施したSDGsに関する調査で、最も関心が高い課題としてジェンダー平等が挙げられたとのデータもあります(EdTechZine,2020)。男女二元論ではない性別の多様なあり方についても、学校の制服をめぐる議論等を通じて考える機会が多くあります。悲しいことですが、医学部入試における女性差別や、社会的経済的に地位のある人物によるセクシャルハラスメントのニュースにも日々さらされています。ジェンダー平等とは、決して他人事ではない、自分自身の将来のために必要なものだとの当事者意識がある若者は増えています。

一方で、若い世代が関心を持ってジェンダー平等を求め、若い世代の意見が反映されないという絶望感にも同時に直面しています。内閣府の若者の意識に関する調査(2018年)では、政策決定過程への関与について、「子供や若者が対象となる政策や制度については子供や若者の意見を聴くようにすべき」と69.5%が回答しているにもかかわらず、58.4%が自分個人の力では政府の決定に影響を与えられないと考えています。

### 政策決定過程への関与

〔内閣府「令和元年版 子供・若者白書」より引用〕

我が国と諸外国の若者の意識に関する調査(2018年度)より、下記グラフは日本の若者の意識のうち政策決定過程への関与についての回答



## 3 ジェンダー平等を目指す若い世代の地方拠点としての男女共同参画センター

男女共同参画センターの存在と、その機能を、若い世代に知ってもらう重要性を感じています。「ジェンカレ」にはオンライン空間で居住地にとらわれない交流の広がりがありますが、ジェンダー課題の解決に若者たちが取り組む際に、各地の男女共同参画センターは大切な拠り所となります。男女二元的な性別の分け方にとどまらない多様なあり方について積極的に取り組むセンターも数多く見られ、地方のセクシャルマイノリティ当事者の若者の支えとなりつつあります。講演やジェンカレの参加

者に男女共同参画センターの活動を紹介すると、「こんなに素晴らしい活動が近くの公共施設で行われているとは知らなかった」との反応が見られます。より多くの人々が男女共同参画センターの存在を知り、特に若者たちが男女共同参画センターと連携してジェンダー平等な未来を築くことを期待しています。

ジェンダー平等の実現には、個人が自分のできる範囲でコツコツとアクションを重ねることが不可欠です。自分自身も、また周囲の人々も、それぞれが自分らしく生きられる社会を目指し、できることから始めてみましょう。まずはジェンダーにまつわるモヤモヤを放置しないこと。自分自身が持っている偏見に気づき、対話し、意見を表明するなど、自分に合った方法を試してみてください。そして、性別や世代を超えたアクションで、高知県からジェンダー平等な社会を目指していきましょう。

# 講座のご案内

●詳しくは、HPをご覧ください。 ●お申し込み

## ソールまつり 2024

開館25周年を迎えるソール。講演会や特別企画、利用団体によるステージ、作品展示、バザーを実施します。会場&特設サイトをお楽しみに！

ソール  
全館開催

1月28日(日) 9:30~17:00

特設  
サイト

1月13日(土) 9:00~  
28日(日) 17:00



▶視聴はこちらから <https://www.sole-kochi.or.jp/festival/>

### 記念講演会



## 女性と地球にスマイルを！ ～共に創る社会をめざして～

化粧品力でひとつでも多くの笑顔が  
うまれたら…。

“女性と地球にスマイルを”をスロー  
ガンに、ひとりでも多くの女性が心身  
ともに健やかに生活し、笑顔が生まれる  
ことを目指し、困難な状況の女性に  
化粧品の詰め合わせギフトを無料配布する『コスメバンク  
プロジェクト』。このプロジェクトを立ち上げた、山田  
メユミさんを講師に迎え、女性の生き方、社会との関わり、  
企業のあり方、さらに地球環境まで、社会が抱える課題の  
解決を目指した取り組みについて伺います。



日時 1月28日(日) 14:00~15:30(開場13:30)

会場 ソール3階 大会議室

講師 山田メユミさん

(株式会社アイスタイル 取締役 共同創業者 /  
一般社団法人バンクフォースマイルズ 代表理事)

定員 会場200名、要約筆記あり、オンライン・オンデ  
マンド配信あり

申込 電話またはHPにて

### 基調講演 録画配信



## いざというときじゃ間に合わない！ いつものわたしにできる防災

近い将来、必ず起こるといわれる南海  
トラフ地震。あなたはどんな備えをして  
いますか。いざというとき、誰もいつも  
の備え以上のことはできません。だから  
こそ、日常の中に防災を取り込んで  
しまうことが大切です。アウトドア防災  
ガイドとして活躍しているあんどうりすさんが、私たちに  
実践できる防災についてお話しします。



配信期間 1月13日(土)9:00~28日(日)17:00

講師 あんどうりすさん(アウトドア防災ガイド)

申込 申込不要、特設サイトからご覧下さい。

## その他、イベント盛りだくさん!!

1月28日(日)  
会場

バザー、ステージ発表、作品展示、  
体験講座、ワークショップなど

アトリウム  
展示

1月13日(土)~27日(土) 15日間  
陶芸・染色作品・さをり織り

### ソール25周年特別企画

## バイスタンダー・トレーニング

「大切な人や目の前の誰かが困っている時、動ける自分になろう！」



バイスタンダーとは、目の前で困っている人がいる時、その場に居合わせた第三者のこと。  
困っている人のために、一歩踏み出せる自分になることを目指します。

日時 1月28日(日) 10:00~12:30

会場 ソール3階 研修室1、2

講師 一般社団法人ジェンダー総合研究所 共同代表 濱田真里さん、安藤真由美さん

定員 会場30名 申込 電話またはHPにて



濱田真里さん



安藤真由美さん

お問い合わせは、088-873-9100まで  
(受付時間 9:00~17:00)

無料 受講無料

託児付き(6カ月~  
小学3年生まで・予約制)  
未就学児童は無料。  
小学生は1家族500円。

オンライン  
受講可能

オンデマンド  
配信あり

令和5年度 犯罪被害者支援 / 女性の人権講演会

無料 受講可能  
オンデマンド

人権を守り幸せに生きる性の学び ~『おうち性教育』のすすめ~

女の子の2.5人に1人が、男の子は10人に1人が18歳までになんらかの性被害を受けるというデータがあります。性被害は大人だけでなく子どもも受けます。自分のこころと体を守り、誰も性被害者にならない性教育をまず家庭から始めてみませんか？いま話題の、マンガで伝わる性教育『おうち性教育はじめます 一番やさしい！防犯・SEX・命の伝え方』(フクチ マミ 共著)の著者、村瀬幸浩さんにお話を伺います。



**日時** 3月3日(日) 13:30~15:30  
**会場** 高知会館 3階 飛鳥の間(高知市本町5丁目6-42)  
**講師** 村瀬幸浩 (一般社団法人“人間と性”教育研究協議会会員、  
日本思春期学会名誉会員)  
**定員** 会場100名 (要申込・先着順)  
※後日オンデマンド配信あり (要申込)



**申込** 1月9日(火) 9:00~  
電話またはHPにて  
**託児** 3月1日(金)までに要予約  
**共催** 認定NPO法人こうち被害者支援センター  
**後援** 高知県教育委員会 高知市教育委員会

女性の居場所づくり事業 ゆるりのしっぽ

無料 託児あり

自分らしく生きるために自分のペースで必要なちからをつけていく自分のための居場所づくり。(途中での参加や退出もできます。)

第5回 私の心と体はぽっかぽか

心と体はつながっていて、心の不調は体に、体の不調は心に影響します。ストレスと上手に距離を取る簡単なリラクゼーション法を体験し、心も体もぽっかぽかにしてみませんか。

**日時** 2月26日(月) 14:00~15:00  
**会場** ソーレ4階 和室  
**講師** 竹村朝海 (臨床心理士/公認心理師)  
**対象** 女性 **申込** 不要  
**託児** 2月22日(木)までに要予約



第6回 部屋スッキリ、私の気分も晴れ晴れ

部屋が散らかっていると気分が落ち着かず、やる気が起きないこともあります。整理整頓のコツを学んで心地よい空間をつくり、気分をあげていきましょう。

**日時** 3月18日(月) 14:00~15:00  
**会場** ソーレ5階 視聴覚室  
**講師** 西野ナミ (整理収納アドバイザー)  
**対象** 女性 **申込** 不要  
**託児** 3月15日(金)までに要予約



初参加の方対象...「女性と地球にスマイルを」の合い言葉で始まった「コスメバンクプロジェクト事務局」より提供いただいたコスメをご希望者にお渡しします。

相談関連講座②



あなたの気持ち、伝わっていますか？  
~気持ちが通うコミュニケーション~

ものごとを客観的に伝える話し方「レポートトーク」と、共感し相手との信頼関係を構築しながら伝える話し方「ラポートトーク」。互いの信頼関係が深まるコミュニケーションが取れるように、伝え方を少し変えてみませんか。

**日時** 2月25日(日) 13:30~16:00  
**会場** ソーレ5階 視聴覚室  
**講師** 中村 正 (立命館大学産業社会学部教授)  
**対象** どなたでも(高知県内在住の方)  
お一人でも。パートナーと一緒に。  
**定員** 20名(先着順)  
**参加費** お一人1,000円  
**申込** 12月15日(金) 9:00~電話またはHPにて



男性家事・介護基礎講座③

無料 託児あり  
オンデマンド

ケアメンをサポート  
高知県の男性ケアラーの現状と支援を考える  
~男性介護者に関する調査を終えて~

男性介護者の会「ケアメンいごっそう」が高知県でケアマネジャーや男性介護者にアンケート調査を実施。そこから見えてきた男性介護者の現状と支援を考えます。当事者や支援者の方々の意見交換も行います。

**日時** 2月17日(土) 13:30~16:00 (後日オンデマンド配信あり)  
**会場** ソーレ3階 大会議室  
**講師** 津止正敏 (立命館大学産業社会学部教授)  
**対象** 講座内容に関心のある方  
**定員** 60名(男性30名・介護に関わる方30名)先着順※男性対象講座ですが、介護に関わるご家族やケアマネジャーの方なども受講可能。  
**申込** 1月4日(木) 9:00~電話またはHPにて

# ソーレ相談室のご案内

ソーレには“こころ”をひらく場所があります。ひとりで悩まないで、まずはお電話ください(相談無料・秘密厳守)。

## 女性のための相談

一般相談 専用電話:088-873-9555

相談時間 休館日を除いた9:00~12:00、13:00~17:00  
(受付は16:00まで)

法律相談(1人30分・予約制)

日時 毎月第2・4木曜日 14:00~16:00

こころの相談(1人50分・予約制) ※託児あり(要予約)

日時 毎月第1・3木曜日 14:00~16:00

男性のための悩み相談(1人50分・予約制)

日時 毎月第1火曜日、第2金曜日、第3・4水曜日 18:00~20:00

## にじいろコール~LGBTsに関する相談~

コール にじいろ  
専用電話:0120-56-2416 (通話料無料)

専門の相談員が、LGBTsなどの相談(性自認及び性的指向に関する様々な悩みや相談)をお受けしています。ご本人だけでなく、家族・友人・先生などもご利用になれます。発信者の電話番号は表示されません。安心してご相談ください。



日時 毎月第4土曜日 13:30~16:30

法律相談、こころの相談、男性のための悩み相談の予約電話番号は **088-873-9100** です。

- ・当月1日より翌月分を受付します。
- ・相談日は変更になる場合があります。あらかじめ、お電話またはソーレHPの相談カレンダーにてご確認ください。

## ソーレ図書・ 情報資料室から

図書約10,000冊以上、DVDなど約1,000本を置いています。是非ご利用ください。(DVDは資料室でもご覧いただけます)  
※毎月第4木曜日14:00~16:00は図書点検整理日のため休室します。

### ..... 貸出について .....

図書 5冊まで2週間

DVD 2本まで1週間  
※高知市外在住の方は2週間

# 募集

## 令和6年度 ソーレえいど事業

県内の非営利団体・グループが男女共同参画推進のために実施する講座や講演会、調査研究等の費用を選考のうえ助成します。(オンラインによる実施も対象)

### 対象団体と助成額

- 対象は県内を拠点として活動している非営利団体で政治、宗教を主たる目的としない団体
- 1団体20万円を上限に対象経費の8割以内を助成

## 令和6年度 県民からの企画提案事業

男女共同参画推進のための講演会や講座等の事業を企画・実施する県内の団体や個人を募集します。(オンラインによる実施も対象)選考のうえ決定します。

### 募集内容と委託料

- 男女共同参画の実現に向けた取り組みや、女性問題の解決を主たる目的とする内容をテーマとした内容
- 委託料 高知市内で実施するもの 10万円以内  
高知市以外で実施するもの 15万円以内

募集〆切 2月25日(日)17:00必着 選考日 3月9日(土)予定 事業実施期間 4月1日(月)~令和7年2月28日(金)

応募方法 募集要項は、ソーレ1階受付にて配布。ホームページからもダウンロード可。ソーレ受付へ持参、または郵送、電子メールにて必要書類を提出。

## 施設利用のご案内



- 貸室利用時間 9:00~21:00(土・日・月曜日9:00~17:00)
- 休館日 第2水曜日・祝日・12月29日~1月3日
- 図書・情報資料室 9:00~20:00(土・日・月曜日9:00~17:00)  
※ただし図書利用カードの発行、及び再発行の受付は17:00まで
- 相談室 9:00~12:00、13:00~17:00(受付は16:00まで)  
(専用電話/088-873-9555)  
※第2水曜日・祝日・12月29日~1月3日は休室です

### あなたの声をお聞かせください

当紙面への感想や、主催事業及び施設利用等に対するご意見などを是非お寄せください。

- 電話 088-873-9100
- Fax 088-873-9292
- Eメール sole@sole-kochi.or.jp
- HP https://www.sole-kochi.or.jp

SOLE SCOPE(ソーレ・スコープ)のSCOPEは、広さ・広がりという意味。ソーレ(イタリア語で「太陽」)を拠点として、情報が広がることを意味します。



- 所在地 〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地
- アクセス 電車...「旭町3丁目」徒歩約1分  
バス...「旭町3丁目」徒歩約1~3分  
JR...「旭駅」徒歩約5分

駐車場の台数が非常に少ないため、お越しの際には公共交通機関のご利用をお願いします。